

子供を伸ばすサークル

親から独立し、ささえあつて学習

強めよう、児童対策

親より先を見てゐる子ども

昨年組合が実施した「夏季児童対策」は、一つの果実ある成果を生み出した。勝立の学習サークル(富前、紅葉ヶ丘、通称を一つとしたブロックの中学生たちが集まった)の活動がそれである。今年も児童対策を実施することになりその準備をすすめているが、何はともあれ同サークルの会長として会を運営してきた大佐古弘幸君(紅葉ヶ丘住宅、現在三池工業高校一年。父親「源太郎さん」が語る経験は、親の私たちに重大なことを語りかけているのではないだろうか。三池の子どもたちが、親の私たちに先を見ながら生きていくにはどうするか。

がんばる

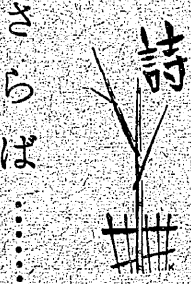
勝立学習サークル



語る大佐古君

終りがその始まり

私たちが学習サークル活動をはじめたのは、昨年組合がやってく



さらば

福祉五分会

四山小石スエノ

闘魂もやしたホッパや
そばふるひさめの黒いデモ
統一 抵抗 団結と

夫と共闘した
友と今日は別れゆく
あふれまじあふれまじ

闘い半ばに倒れども
闘い半ばに去る者も
思ひは同じ労働者

西に東に南北
燃やそ広げよ三池の火
あふれまじあふれまじ
さらば福祉五分会

観光バスに揺られては
団結旅行の楽しさよ
唄つて踊つて慰めあつた
家族ぐるみのパラダイス
がんばろうしあわせつかむまで
あふれまじあふれまじ
さらば福祉五分会

夕陽は沈み多良岳よ
背振りの山よ雲仙よ
島原通いの渡海船
海辺に立てば去来する
夫と生きた幾歳を
あふれまじいつまでも
さらば福祉五分会

第二組合の友だちも、よるこんで参加しました。

会長は一番積極的に呼びかけたものの責任上、私が引き受けさせられませんでした。第二組合の友だちで、役員になった者もいました。

親から独立めざし

サークルが一番にやることは学習でした。毎晩夜の七時から九時まで、紅葉ヶ丘の集会所でやりました。でも私たちがいろいろ話し合つては、学習ばかりでなく年末の杜毛中の夜まわりや、レクリエーションそのほかの催しなど何でもやりました。もともとサークルをはじめることになった動機が、第一に親から独立して生きようという点にありました。第二に、いま学校生活の場であつたわが校の協力関係をつくり出して生きようという点にありました。実際中学生の私

ちはいま、学校ではうわべのつき合ひばかり、家に帰ればバラバラです。

学習はもう、先生なしでやりました。たかがわからない問題は二人、三人で考え、それでもわからないときにはみんなが集つて、頭をしゃべりました。下級生の勉強は、だいたい上級生で見てやることができました。

男と女も、上級生と下級生も完全に平等でした。騒ぐときなんかたかが「かかれ」と号令する上級生も屈したくもなくなり、みんなが飛びかかってわいわい、また女でも柱なんかにかかみついては馬乗り遊びもやりました。私なんか女の友だちから、大佐古の

浅い親たちの認識

ところが親たちの認識の中には私たちの真実の姿が、十分とらえられてはいませんでした。

学習サークルで、友だちといつしよに勉強した大佐古弘幸君の社会科のノート。みんなとささえあひながら、真剣に勉強したあとがにみでています。一人ひとりが優れた力をだし合つてやる勉強こそが、本当の力をつけるものだということをよく教えてくれました。

子どもに正しいことをさせぬ親

私たちのサークル活動がやっと活発になったところのことです。サークルで、親たちとの懇談会を企画したことがあります。ほんとうのことをわかってもらうためでした。その懇談会に、第二組合の友だちの親たちは来てくれませんでした。いや、きた人がありませんでした。それは自分たちの子どもたちを家に連れ戻すためだったのです。そのため、第二組合の友だちは一人も来ませんでした。

相次ぐ米軍犯罪

怒りにわく沖縄

【KNA】またも沖縄では米兵犯罪が狂ったように続発。島は怒りに燃えている。琉球立法院では六日、与野党一致で米軍生体事件に対する抗議決議を採択した。決議文は、事件が「県民を恐怖のどん底に陥れ、

本所二分会の闘い

についての補足

西山正勝

さきの本誌五月一日号に記載された「本所二分会の闘い」の報告として水道課の残業・公出問題をとりあげましたが、これをめぐって職場で討議した結果、つぎのように補足、指摘がなされた。

その前文が「やってみてもよいではないか」という声があつたとなつており、この点はあくまで職場で討議した結果、全員の同意で決めたことである。そのとりぐみについて出勤できる人を調べたところ、三人が出勤してもよいというところになったのである。前号の記事では討議内容と結果が不明確なまま三人の公出が前面に出て、個人の意思によって出勤を認めたという誤解がなされた。したがって、職場で討議した結果、つぎのように補足、指摘がなされた。

一生懸命勉強しました。おかげでサークルから、県立の高校を受験した七人みんながうかりました。私もその中の一人ですが、中学を卒業するときのお祝いに、サークルからペンシルをもらいました。石背人形をもらった者もいます。うれしかったです。